



シリーズ“The Professional”

第一回:「挑戦」



2014/1/17(金) 19:00

「事業で成功するには市場の一番手であること!」、至って簡単な話しである。もし、一番手でない場合はどうすれば良いのか? 巷間、色々な方法が述べられてきたが、最終的には諦めずに「挑戦」を続けて行くしかない。シリーズ“The Professional”第一弾は果敢に挑戦を続けるJBS会員の紹介である。

挑戦Ⅰ: 藤田秀彦先生(歯科医)の**挑戦!**

日本の歯科医師人口、10万人。歯科医院数7万件。コンビニが5万件を超えていますのが、その1, 4倍の歯科医院があります。
その中で生き残っていくためのアイデアを第一回JBSにて会員の皆様より頂きました。埼玉県吉川市にフジ歯科医院を開院して10年、インプラント治療、かみ合わせ治療、歯のホワイトニング、南カリフォルニア大学歯学部卒後研修プログラム等、様々な治療に取り組んできました。
2011年に子供の骨格矯正を伴う歯科矯正治療と出会いました。現代の柔らかい食べ物による、あごの成長不足が起こっています。
あごの成長不足により、鼻腔が小さく、口呼吸をしています。
上あごの骨格矯正をすることにより、鼻呼吸ができるようになり、花粉症、小児喘息、アトピー性皮膚炎の症状の改善が見られます。この素晴らしい治療をJBS会員の皆様にも知って頂きたい、さらに世の中に広めたい。この治療に取り組んでいる歯科医師は10万人のうちの250人です。この治療に取り組む歯科医師を1万人にしたい、これを**挑戦**します!

挑戦Ⅱ: カメヤマ株式会社キャンドルハウス事業部の**挑戦!**

1927年(昭和2年)創業、2014年には創業87年を迎えるカメヤマ株式会社の主幹商品はロウソクや線香が中心でした。1994年、「キャンドルのある風景」をテーマに日常生活の中における色々な生活雑貨商品を伝えつるために、キャンドルハウス事業部が創設されました。その間多数の雑貨関連商品での大ヒット商品を世に出してきましたが、核になるのはやはり、「キャンドル」。そのキャンドルも東日本大震災後、キャンドルライフに一つの変化がありました。

それは、

- ・時代の求める、「心の癒し」ギフトとして
- ・時代の求める、「心の繋がる」ギフトとして
- ・贈って誰もが「心から喜ばれる」センスのあるギフトとして

新たに生まれ、そして今尚、強く求められる時代の価値観としてキャンドルの灯りが心を贈るギフトとして評価頂けるようになりました。

「**The Best Gift Candle**」、キャンドルはギフトに最適!!

キャンドルハウスの挑戦は、キャンドルの灯りをギフトとした多くの方々に使って頂きたい、これを**挑戦**します!